



MT1195a microUSB バーコードリーダー パラメータ設定ガイド



ウェルコムデザイン株式会社

本社 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル
SDC 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本社 & SDC]
(※) SDC stands for Support and Delivery Center

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

東京 〒113-0034 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル
TEL. 03-3836-9411(代) FAX. 03-3836-9412

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てセルフサービス方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ◇ ご使用前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ◇ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やFLiCなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電池および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属のACアダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ ACプラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ ACプラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電池を使用しないでください。
- ✓ 充電池は、デバイスから取り外し、金属などが無い0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電池を充電しても動作時間が短い場合は、充電池の寿命です。新しい充電池をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電池を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

1. はじめに	6
1.1. システムコード	6
2. USB-HID オプション	7
3. トリガモードの設定	7
トリガモード	7
4. キャラクタ間送信レートの設定	8
5. データフォーマットの設定	8
ターミナル	8
読取データ桁数	9
フリクション/ホストフリクション	9
コード ID	10
ユーザコード ID	11
6. 反転バースト読み取りの設定	11
7. 読み取りバーストの設定	12
チャイボースト	12
MSI	13
UK Plessey	14
コード 93	14
Telepen	15
IATA	15
インターリーブ 2/5	16
コード 11	17
インターリーブ 2/5	18
マトリクス 2/5	19
バーコード (NW7)	20
コード 39	22
UPC-E	23
UPC-A	24
EAN-8	25
EAN-13	26
コード 128	27
GS1-128	28
GS1 Databar - Omni & Stacked	29
GS1 Databar - Limited	29
GS1 Databar - Expanded	30
補足 A. アルファベットコード表	31
補足 B. ASCII コード表	37
補足 C. シフトコード	38
修理依頼書	39

1. はじめに



この度は、弊社 MT1195a パーコドリーダ（以下、パーコドリーダ）をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、パーコドリーダのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドを読み取ることで、パーコドリーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にして設定が消えることはありません。

TBT シリーズのパーコドリーダは、Ez One Shot[®] と呼ばれる、パラメータ設定開始コマンドやパラメータ設定終了コマンドを使用しないワスキャンタイプのコマンドを採用しています。

MT1195a パーコドリーダは、一般的なパーコドリーダと異なり、インディケータ（LED、ブザー、バグレタ）を装備していません。パラメータ設定用コマンドを読み取ると、LEDビームを 2 度点滅させます。また、間違っただリカモードを設定した場合に備え、電源投入後、自動的に数秒間読取モードとなります。この間に正しいトリカモードに設定を修正してください。

1.1. システムコマンド

コマンド	説明	デフォルト
 . A 0 0 1 \$	工場出荷時の初期状態（デフォルト値）にリセットします。	
 . A 0 0 7 \$	ファームウェアバージョン情報を出力します。	

2. USB-HID 対応

必要に応じて、キーボード対応の設定を行ってください。

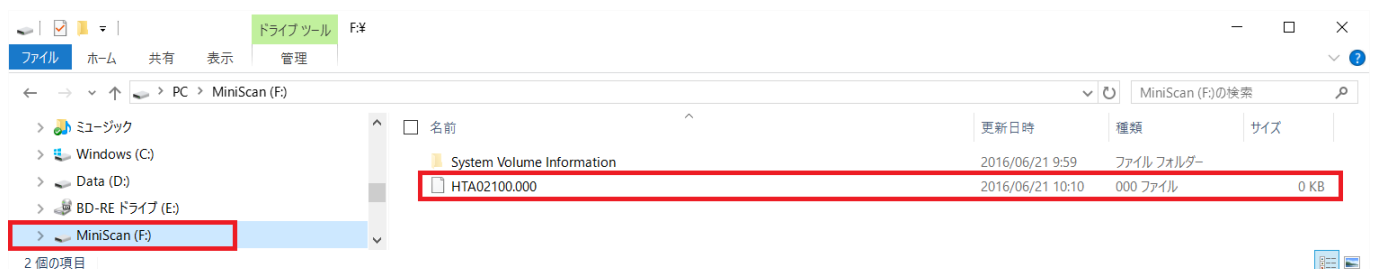
キーボード対応		
英語キーボード (*) C 0 1 0 \$	日本語キーボード C 0 0 9 \$	ALT シークス C 0 1 5 \$
CapsLock 切 A 0 0 4 \$	CapsLock 切 (*) A 0 0 5 \$	CapsLock 自動 A 0 0 6 \$
数字テンキー送信 D 0 1 7 \$		数字フルキー送信 (*) D 0 1 8 \$

3. トリガモードの設定

コマンドバース	説明	デフォルト
F 0 0 5 \$	<u>コンティニアスモード</u> 読取 LED を常時点灯して、バースの読み取りを行います。	
F 0 0 2 \$	<u>トリガモード</u> トリガコマンドを検知すると、読取 LED を点灯して、約 3 秒間バースの読み取りを試みます。	△
F 0 0 6 \$	<u>オートセレクトモード</u> 紙面を検知し、自動的に読取 LED を点灯して、トリガキーを押すと、60 秒間、読取 LED を点灯して、約 3 秒間バースの読み取りを試みます。このモードでは、トリガモードも有効で、トリガコマンドを検知すると、読取 LED を点灯して、約 3 秒間バースの読み取りを試みます。	■

トリガコマンド






バースリーダーは、USB 大容量記憶デバイスとして認識されます。実際には、64KB の小さなメモリのみを搭載しています。バースリーダーに対して、トリガコマンドを発行したい場合は、「HTA02100.000」という空ファイルをメモリに作成します。既に「HTA02100.000」が存在する場合は、ファイルを削除後、再度作成してください。ファイル「HTA02100.000」を検知すると、バースリーダーは、読取 LED を点灯して、約 3 秒間バースの読み取りを試みます。



「参考」

バースリーダーは、PID=0x0111, VID=0x0111 として認識されます。








4. キャラクタ間送信デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 B 0 1 0 \$	140 マイクロ秒	■
 B 0 1 1 \$	500 マイクロ秒	
 B 0 1 2 \$	1 ミリ秒	
 B 0 1 3 \$	4 ミリ秒	
 B 0 1 4 \$	16 ミリ秒	

5. データフォーマットの設定



ターミネータ

送信フォーマット					
プリアンブル	コード ID	読取データ桁数	読取データ	ホストアンブル	ターミネータ

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 D 0 1 0 \$	無し	
 D 0 1 1 \$	LF	
 D 0 1 2 \$	CR (インターキー)	■
 D 0 1 3 \$	CR+LF	
 D 0 1 4 \$	TAB	
 D 0 1 5 \$	入°-入	
 D 0 1 6 \$	ESC	




読取データ桁数

送信フォーマット					
プリアンブル	コード ID	読取データ桁数	読取データ	ホストアンブル	ターミネータ

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 . D 0 2 0 \$	無し	■
 . D 0 1 9 \$	有り (2 桁送信 ex: 5 桁=05)	





プリアンブルホストアンブル

送信フォーマット					
プリアンブル	コード ID	読取データ桁数	読取データ	ホストアンブル	ターミネータ

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 . A 0 1 1 \$	無し (全クリア)	■
 . A 0 1 2 \$	<u>プリアンブル</u> 「プリアンブル」をスキャンし、続けて、設定したいキャラクタを「補足 A.フルアスキーバースコード」から 16 文字以内でスキャンし、最後に「プリアンブル」を再度スキャンします。例えば、@@に設定したい場合は、「プリアンブル」「@」「@」「プリアンブル」の順にスキャンします。	
 . A 0 1 3 \$	<u>ホストアンブル</u> 「ホストアンブル」をスキャンし、続けて、設定したいキャラクタを「補足 A.フルアスキーバースコード」から 16 文字以内でスキャンし、最後に「ホストアンブル」を再度スキャンします。例えば、##に設定したい場合は、「ホストアンブル」「#」「#」「ホストアンブル」の順にスキャンします。	

コード ID

送信フォーマット					
プリアンブル	コード ID	読取データ桁数	読取データ	ホストプリアンブル	ターミネータ

コマンドバrcode	説明	デフォルト
 . A 0 0 9 \$	無し	■
 . A 0 0 8 \$	既定コード ID	
 . A 0 1 4 \$	AIM コード ID	
 . A 0 1 5 \$	ユーザコード ID(次頁の「ユーザコード ID」を参照)	

























バrcodeシンボル	規定コード ID	AIM ID	バrcodeシンボル	規定コード ID	AIM ID
GS1-128	T]C1	MSI]M0
コード 128	K]C0	MSI MOD10 CD 送信無し	O]M1
EAN8	S]E4	コード 32	B]X0
EAN8 7ドット 2]E4	ユーザバrcode-(NW7)	N]F0
EAN8 7ドット 5]E4	ABC ユーザバrcode]F1
UPCE]E0	ユーザバrcode - CD 送信有り]F2		
UPCE 7ドット 2	E]E3	ユーザバrcode - CD 送信無し]F4
UPCE 7ドット 5]E3	UK Plessey	P]P0
UPCA]E0	マトリクス 2/5	Y]X0
UPCA 7ドット 2	A]E3	コード 39 フルアスキー-CD 無し	D]A4
UPCA 7ドット 5]E3	コード 39 フルアスキー-CD 送信有り]A5
EAN13]E0	コード 39 フルアスキー-CD 送信無し		
EAN13 7ドット 2	F]E3	コード 39 CD 無し	M]A0
EAN13 7ドット 5]E3	コード 39 CD 送信有り]A1
コード 93		L]G0		コード 39 CD 送信無し
コード 11 CD 無し	J]H0	IATA2/5	R]R0
コード 11 1CD 送信]H0	インダストリアル 2/5	V]S0
コード 11 2CD 送信]H1	チャイナ 2/5	H]X0
コード 11 CD 送信無し]H3	インターアプト 2/5 CD 無し	I]I0
Telepen ASCII]B0	インターアプト 2/5 CD 送信有り]I1
Telepen Numeric]B1	インターアプト 2/5 CD 送信無し]I3		

1-ザ-コード ID



下記の手順に従って、1-ザ-コード ID を設定します。

- 1-ザ-コード ID を設定したい「パ-コード シンボル」をスキャンします。
- 続けて、設定したいキャラクタを「補足 A.フルアスキー-コード」から 2 文字以内でスキャンします。
- 最後に「パ-コード シンボル」を再度スキャンします。



例えば、コード 39 の 1-ザ-コード ID を##に設定したい場合は、「コード 39」「#」「#」「コード 39」の順にスキャンします。

パ-コード シンボル		
EAN13  . P 0 0 1 \$	EAN8  . P 0 0 2 \$	UPCE  . P 0 0 3 \$
UPCA  . P 0 0 4 \$	コード 39  . P 0 0 5 \$	コード 93  . P 0 1 3 \$
コダパ-(NW7)  . P 0 0 7 \$	IATA  . P 0 2 1 \$	コード 128  . P 0 1 0 \$
GS1-128  . P 0 1 6 \$	Telepen  . P 0 2 2 \$	コード 11  . P 0 0 9 \$
コード 32  . P 0 1 1 \$	ファイボスト  . P 0 1 2 \$	MSI  . P 0 1 4 \$
UK Plessey  . P 0 1 5 \$	マトリクス 2/5  . P 0 1 7 \$	インタ-リーブド 2/5  . P 0 0 6 \$
インタ ストリアル 2/5  . P 0 1 8 \$	コード 39 フルアスキー  . P 0 0 8 \$	GS1 Databar Limited  . P 0 1 9 \$
GS1 Databar Expanded  . P 0 2 0 \$	GS1 Databar  . P 0 2 4 \$	予備  . P 0 2 0 \$

6. 反転パ-コード 読み取りの設定

コダパ-コード	説明	デフォルト
 . D 0 2 1 \$	無し	■
 . D 0 2 2 \$	有り	












7. 読み取りバーコードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 A 0 0 2 \$	全てのバーコードを読み取る	
 A 0 0 3 \$	全てのバーコードを読み取らない	





















チャイホスト

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 K 0 0 1 \$	読み取り有り	■
 K 0 0 2 \$	読み取り無し	
 K 0 0 3 \$	チェックビット検査無し	■
 K 0 0 4 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 K 0 0 5 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 K 0 0 6 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	11
 K 0 0 7 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48





数値バーコード

0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P 0 2 3 \$





MSI

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 L 0 0 1 \$	読み取り有り	
 L 0 0 2 \$	読み取り無し	■
 L 0 0 4 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	■
 L 0 0 3 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 L 0 0 7 \$	チェックビットダブル Mod10	
 L 0 0 8 \$	チェックビットダブル Mod11&10	
 L 0 0 9 \$	チェックビットシングル Mod10	■
 L 0 0 5 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コード で設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 L 0 0 6 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コード で設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48
数値バ -コード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P 0 2 3 \$












UK Plessey

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 . L 0 1 0 \$	読み取り有り	
 . L 0 1 1 \$	読み取り無し	■
 . L 0 1 2 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 . L 0 1 3 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	■





コード 93

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 . G 0 1 0 \$	読み取り有り	
 . G 0 1 1 \$	読み取り無し	■
 . G 0 1 2 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コード で設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 . G 0 1 3 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コード で設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48

数値バ -コード

0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  . P 0 2 3 \$












Telepen

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 . L 0 1 4 \$	読み取り有り	
 . L 0 1 5 \$	読み取り無し	■
 . L 0 2 0 \$	ASCII タイプ	
 . L 0 2 1 \$	Numeric タイプ	■








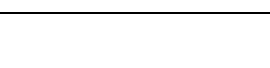











IATA

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 . N 0 1 7 \$	読み取り有り	
 . N 0 1 8 \$	読み取り無し	■
 . N 0 1 9 \$	チェックビット検査無し	■
 . N 0 2 0 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 . N 0 2 1 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 . N 0 2 2 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をキャンセル、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をキャンセル、最後に「読取最小桁数」を再度キャンセルします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にキャンセルします。	6
 . N 0 2 3 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をキャンセル、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をキャンセル、最後に「読取最大桁数」を再度キャンセルします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にキャンセルします。	48








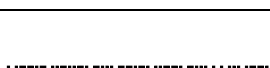












数値バ -コード

0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  . P 0 2 3 \$

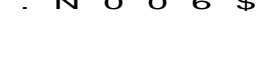



インターリーブド 2/5

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 J 0 0 1 \$	読み取り有り	■
 J 0 0 2 \$	読み取り無し	
 J 0 0 3 \$	チェックビット検査無し	■
 J 0 0 4 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 J 0 0 5 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 J 0 0 8 \$	先頭桁削除	
 J 0 0 9 \$	最終桁削除	
 J 0 1 4 \$	先頭桁/最終桁削除無し	■
 J 0 0 6 \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 J 0 0 7 \$	<u>読取最大桁数</u> 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48
数値バーコード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P 0 2 3 \$

コード 11

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 1010\$	読み取り有り	■
 1011\$	読み取り無し	
 1012\$	チェックビット検査無し	■
 1013\$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 1042\$	チェックビット検査有り & 送信有り(1桁)	
 1043\$	チェックビット検査有り & 送信有り(2桁)	
 1014\$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 1015\$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 1016\$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	32
数値バーコード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  F023\$

インダストリアル 2/5

コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 N 0 0 1 \$	読み取り有り	
 N 0 0 2 \$	読み取り無し	■
 N 0 0 3 \$	チェックビット検査無し	■
 N 0 0 4 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 N 0 0 5 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 N 0 0 6 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 N 0 0 7 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48
数値バ -コード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P 0 2 3 \$

マトリクス 2/5











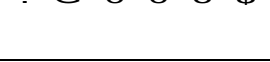











コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 M O 1 0 \$	読み取り有り	
 M O 1 1 \$	読み取り無し	■
 M O 1 2 \$	チェックビット検査無し	■
 M O 1 3 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 M O 1 4 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 M O 1 5 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をキャンセル、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をキャンセル、最後に「読取最小桁数」を再度キャンセルします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にキャンセルします。	6
 M O 1 6 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をキャンセル、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をキャンセル、最後に「読取最大桁数」を再度キャンセルします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にキャンセルします。	48
数値バ -コード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P O 2 3 \$

コマンドバ - (NW7)





















コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 1001\$	読み取り有り	■
 1002\$	読み取り無し	
 1005\$	チェックサム検査無し	■
 1006\$	チェックサム検査有り & 送信有り	
 1007\$	チェックサム検査有り & 送信無し	
 1008\$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をダイヤルし、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をダイヤルし、最後に「読取最小桁数」を再度ダイヤルします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にダイヤルします。	6
 1009\$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をダイヤルし、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をダイヤルし、最後に「読取最大桁数」を再度ダイヤルします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にダイヤルします。	48
数値バ -コード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P023\$

コマンドバールコード	説明	デフォルト
 . 1 0 3 0 \$	スタート/ストップ° abcd/abcd	
 . 1 0 2 9 \$	スタート/ストップ° ABCD/ABCD	■
 . 1 0 3 1 \$	スタート/ストップ° ABCD/TN*E	
 . 1 0 3 2 \$	スタート/ストップ° abcd/tn*e	
 . 1 0 0 3 \$	スタート/ストップ° 送信有り	■
 . 1 0 0 4 \$	スタート/ストップ° 送信無し	
 . 1 0 2 7 \$	CLSI フォーマット変換有り	
 . 1 0 2 8 \$	CLSI フォーマット変換無し	■

















コード 39

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 . G 0 0 8 \$	読み取り有り	■
 . G 0 0 9 \$	読み取り無し	
 . G 0 0 2 \$	ガラスキー無し	
 . G 0 0 1 \$	ガラスキー有り	■
 . G 0 1 5 \$	スタート/ストップ 送信無し	■
 . G 0 1 4 \$	スタート/ストップ 送信有り	
 . G 0 0 3 \$	チェックビット検査無し	■
 . G 0 0 4 \$	チェックビット検査有り & 送信有り	
 . G 0 0 5 \$	チェックビット検査有り & 送信無し	
 . G 0 0 6 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 . G 0 0 7 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48
数値バーコード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  . P 0 2 3 \$















UPC-E

コマンドバースト	説明	デフォルト
 . H 0 0 7 \$	読み取り有り	■
 . H 0 0 8 \$	読み取り無し	
 . H 0 1 0 \$	先頭桁送信無し	
 . H 0 0 9 \$	先頭桁送信有り	■
 . H 0 1 2 \$	チェックビット送信無し	
 . H 0 1 1 \$	チェックビット送信有り	■
 . H 0 3 8 \$	アドカ5 読み取り無し	■
 . H 0 3 7 \$	アドカ5 読み取り有り	
 . H 0 4 0 \$	アドカ2 読み取り無し	■
 . H 0 3 9 \$	アドカ2 読み取り有り	
 . H 0 4 8 \$	アドカセパレータ無し	■
 . H 0 4 7 \$	アドカセパレータ有り(スペース)	
 . H 0 5 5 \$	アドカ必須読み取り無し	■
 . H 0 5 6 \$	アドカ必須読み取り有り	
 . H 0 6 4 \$	UPC-E0 読み取り無し	
 . H 0 6 3 \$	UPC-E0 読み取り有り	■
 . H 0 6 5 \$	UPC-E1 読み取り無し	
 . H 0 6 6 \$	UPC-E1 読み取り有り	■
 . H 0 5 4 \$	UPC-A 変換無し	■
 . H 0 5 3 \$	UPC-A 変換有り	



















UPC-A

コマンドバースト	説明	デフォルト
 . H 0 0 1 \$	読み取り有り	■
 . H 0 0 2 \$	読み取り無し	
 . H 0 0 4 \$	先頭桁送信無し	
 . H 0 0 3 \$	先頭桁送信有り	■
 . H 0 0 6 \$	チェックビット送信無し	
 . H 0 0 5 \$	チェックビット送信有り	■
 . H 0 3 4 \$	アドカ5 読み取り無し	■
 . H 0 3 3 \$	アドカ5 読み取り有り	
 . H 0 3 6 \$	アドカ2 読み取り無し	■
 . H 0 3 5 \$	アドカ2 読み取り有り	
 . H 0 4 6 \$	アドカセパレータ無し	■
 . H 0 4 5 \$	アドカセパレータ有り(スペース)	
 . H 0 5 9 \$	アドカ必須読み取り無し	■
 . H 0 6 0 \$	アドカ必須読み取り有り	
 . H 0 6 7 \$	EAN-13 変換無し	■
 . H 0 6 8 \$	EAN-13 変換有り	

EAN-8

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 . H 0 1 9 \$	読み取り有り	■
 . H 0 2 0 \$	読み取り無し	
 . H 0 2 2 \$	先頭桁送信無し	
 . H 0 2 1 \$	先頭桁送信有り	■
 . H 0 2 4 \$	チェックビット送信無し	
 . H 0 2 3 \$	チェックビット送信有り	■
 . H 0 3 0 \$	アドカ5 読み取り無し	■
 . H 0 2 9 \$	アドカ5 読み取り有り	
 . H 0 3 2 \$	アドカ2 読み取り無し	■
 . H 0 3 1 \$	アドカ2 読み取り有り	
 . H 0 4 4 \$	アドカセパレータ無し	■
 . H 0 4 3 \$	アドカセパレータ有り(スペース)	
 . H 0 6 1 \$	アドカ必須読み取り無し	■
 . H 0 6 2 \$	アドカ必須読み取り有り	

EAN-13

コマンドバースト	説明	デフォルト
 . H 0 1 3 \$	読み取り有り	■
 . H 0 1 4 \$	読み取り無し	
 . H 0 1 6 \$	先頭桁送信無し	
 . H 0 1 5 \$	先頭桁送信有り	■
 . H 0 1 8 \$	チェックビット送信無し	
 . H 0 1 7 \$	チェックビット送信有り	■
 . H 0 2 6 \$	アドカ5 読み取り無し	■
 . H 0 2 5 \$	アドカ5 読み取り有り	
 . H 0 2 8 \$	アドカ2 読み取り無し	■
 . H 0 2 7 \$	アドカ2 読み取り有り	
 . H 0 4 2 \$	アドカセパレータ無し	■
 . H 0 4 1 \$	アドカセパレータ有り(スペース)	
 . H 0 5 7 \$	アドカ必須読み取り無し	■
 . H 0 5 8 \$	アドカ必須読み取り有り	
 . H 0 5 0 \$	ISBN 変換無し	■
 . H 0 4 9 \$	ISBN 変換有り	
 . H 0 5 2 \$	ISSN 変換無し	■
 . H 0 5 1 \$	ISSN 変換有り	

コード 128

コマンドバースト	説明	デフォルト
 J 0 1 0 \$	読み取り有り	■
 J 0 1 1 \$	読み取り無し	
 J 0 1 2 \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーストで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	5
 J 0 1 3 \$	<u>読取最大桁数</u> 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーストで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48
数値バースト		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  P 0 2 3 \$

GS1-128

コマンドコード	説明	デフォルト
 M001\$	読み取り有り	■
 M002\$	読み取り無し	
 M004\$	lcl 送信無し	■
 M003\$	lcl 送信有り	
 M006\$	GS (FNC1) 送信無し	■
 M005\$	GS (FNC1) 送信有り	
 M007\$	GS 置換キャラクタ 「GS 置換キャラクタ」をスキャンし、続けて、設定したいキャラクタを「補足 A. フラグコード」から 1 文字スキャンし、最後に「GS 置換キャラクタ」を再度スキャンします。例えば、@に設定したい場合は、「GS 置換キャラクタ」@「GS 置換キャラクタ」の順にスキャンします。	

🚩 GS1-128 を読み取る場合は、コード 128 も読み取り有りに設定してください。

GS1 Databar – Omni & Stacked

コマンドバールコード	説明	デフォルト
 . N 0 3 2 \$	読み取り有り	■
 . N 0 3 3 \$	読み取り無し	
 . N 0 3 5 \$	チェックビット送信無し	■
 . N 0 3 4 \$	チェックビット送信有り	
 . N 0 3 7 \$	アプリケーション ID(01)送信無し	■
 . N 0 3 6 \$	アプリケーション ID(01)送信有り	
 . N 0 3 9 \$	Stacked 読み取り無し	
 . N 0 3 8 \$	Stacked 読み取り有り	■



















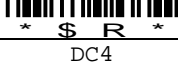

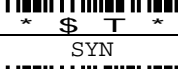
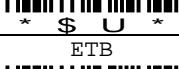
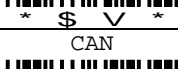
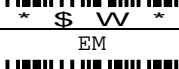
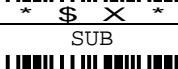


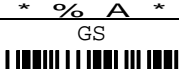


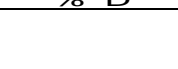
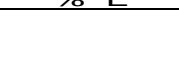

GS1 Databar – Limited
















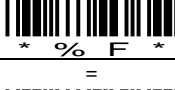

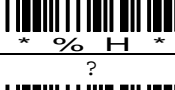














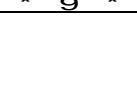
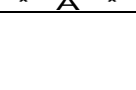

コマンドバールコード	説明	デフォルト
 . N 0 1 0 \$	読み取り有り	■
 . N 0 1 1 \$	読み取り無し	
 . N 0 1 3 \$	チェックビット送信無し	■
 . N 0 1 2 \$	チェックビット送信有り	
 . N 0 2 5 \$	アプリケーション ID(01)送信無し	■
 . N 0 2 4 \$	アプリケーション ID(01)送信有り	




































GS1 Databar – Expanded






























コマンドバ -コード	説明	デフォルト
 . N 0 2 6 \$	読み取り有り	■
 . N 0 2 7 \$	読み取り無し	
 . N 0 2 9 \$	Stacked 読み取り無し	■
 . N 0 2 8 \$	Stacked 読み取り有り	
 . N 0 3 0 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小桁数」の順にスキャンします。	6
 . N 0 3 1 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バ -コードで設定したい桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大桁数」の順にスキャンします。	48
数値バ -コード		
0 	1 	2 
3 	4 	5 
6 	7 	8 
9 		やり直し  . P 0 2 3 \$






























補足 A. フラスキバコード表



















NUL  * % U *	SOH  * \$ A *
STX  * \$ B *	ETX  * \$ C *
EOT  * \$ D *	ENQ  * \$ E *
ACK  * \$ F *	BEL  * \$ G *
BS  * \$ H *	HT  * \$ I *
LF  * \$ J *	VT  * \$ K *
FF  * \$ L *	CR  * \$ M *
SO  * \$ N *	SI  * \$ O *
DLE  * \$ P *	DC1  * \$ Q *
DC2  * \$ R *	DC3  * \$ S *
DC4  * \$ T *	NAK  * \$ U *
SYN  * \$ V *	ETB  * \$ W *
CAN  * \$ X *	EM  * \$ Y *
SUB  * \$ Z *	ESC  * % A *
FS  * % B *	GS  * % C *
RS  * % D *	US  * % E *
やり直し  P 0 2 3 \$	

SPACE  * * *	!  * / A *
"  * / B *	#  * / C *
\$  * \$ *	%  * % *
&  * / F *	'  * / G *
( * / H *)  * / I *
*  * / J *	+  * + *
,  * / L *	-  * - *
:  * / Z *	;  * % F *
<  * % G *	=  * % H *
>  * % I *	?  * % J *
@  * % V *	/  * / *
.  * . *	0  * 0 *
1  * 1 *	2  * 2 *
3  * 3 *	4  * 4 *
5  * 5 *	6  * 6 *
7  * 7 *	8  * 8 *
9  * 9 *	A  * A *
やり直し  P 0 2 3 \$	

B  * B *	C  * C *
D  * D *	E  * E *
F  * F *	G  * G *
H  * H *	I  * I *
J  * J *	K  * K *
L  * L *	M  * M *
N  * N *	O  * O *
P  * P *	Q  * Q *
R  * R *	S  * S *
T  * T *	U  * U *
V  * V *	W  * W *
X  * X *	Y  * Y *
Z  * Z *	[ * % K *
¥  * % L *]  * % M *
^  * % N *	-  * % O *
`  * % W *	a  * + A *
b  * + B *	c  * + C *
やり直し  P 0 2 3 \$	

d  * + D *	e  * + E *
f  * + F *	g  * + G *
h  * + H *	i  * + I *
j  * + J *	k  * + K *
l  * + L *	m  * + M *
n  * + N *	o  * + O *
p  * + P *	q  * + Q *
r  * + R *	s  * + S *
t  * + T *	u  * + U *
v  * + V *	w  * + W *
x  * + X *	y  * + Y *
z  * + Z *	{  * % P *
  * % Q *	}  * % R *
~  * % S *	DEL  * % T *
やり直し  . P 0 2 3 \$	

F1  * \$ T A *	F2  * \$ T B *
F3  * \$ T C *	F4  * \$ T D *
F5  * \$ T E *	F6  * \$ T F *
F7  * \$ T G *	F8  * \$ T H *
F9  * \$ T I *	F10  * \$ T J *
F11  * \$ T K *	F12  * \$ T L *
Home  * \$ T M *	End  * \$ T N *
Enter(°)°-)  * \$ T + D *	App  * \$ T + O *
→  * \$ T O *	←  * \$ T P *
↑  * \$ T Q *	↓  * \$ T R *
Page Up  * \$ T S *	Page Down  * \$ T T *
Tab  * \$ T U *	Back Tab  * \$ T V *
ESC  * \$ T W *	Enter  * \$ T X *
BS  * \$ T Y *	Ins  * \$ T Z *
やり直し  P 0 2 3 \$	

Del  * \$ T % K *	左 Alt Make  * \$ T % L *
左 Alt Break  * \$ T % M *	右 Alt Make  * \$ T + E *
右 Alt Break  * \$ T + F *	左 Shift Make  * \$ T % N *
左 Shift Break  * \$ T % O *	右 Shift Make  * \$ T + I *
右 Shift Break  * \$ T + J *	左 Windows Make  * \$ T + K *
左 Windows Break  * \$ T + L *	右 Windows Make  * \$ T + M *
右 Windows Break  * \$ T + N *	左 Ctrl Make  * \$ T % W *
左 Ctrl Break  * \$ T + A *	右 Ctrl Make  * \$ T + G *
右 Ctrl Break  * \$ T + H *	
やり直し  . P 0 2 3 \$	

補足 B. ASCII コード表

	0		1		2	3	4	5	6	7
0	NUL	^@	DLE	^P	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	^A	DC1	^Q	!	1	A	Q	a	q
2	STX	^B	DC2	^R	"	2	B	R	b	r
3	ETX	^C	DC3	^S	#	3	C	S	c	s
4	EOT	^D	DC4	^T	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	^E	NAK	^U	%	5	E	U	e	u
6	ACK	^F	SYN	^V	&	6	F	V	f	v
7	BEL	^G	ETB	^W	'	7	G	W	g	w
8	BS	^H	CAN	^X	(8	H	X	h	x
9	HT	^I	EM	^Y)	9	I	Y	l	y
A	LF	^J	SUB	^Z	*	:	J	Z	j	z
B	VT	^K	ESC	^[+	;	K	[k	{
C	FF	^L	FS	^\	,	<	L	\	l	
D	CR	^M	GS	^]	-	=	M]	m	}
E	SO	^N	RS	^^	.	>	N	^	n	~
F	SI	^O	US	^_	/	?	O	_	o	DLE

補足 C. サンプルコード

コード 39



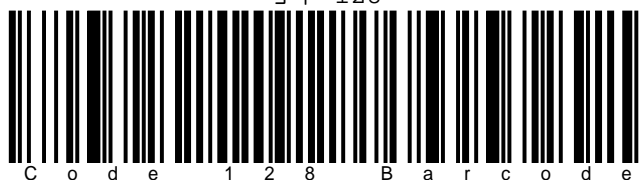
JAN-13



インタープリント 2/5 (ITF)



コード 128



GS1-128



GS1 Databar インタプリント



